

花壇ゾーン

紫色のラベンダーは
昆虫がよく集まる
花だよ

ニホンヤモリ

ネムノキ

ラベンダー

【園部 結海さん】

公園入口近くのサービスセンター周辺は、花壇や樹木が多いゾーンです。花のそばには蜜を求めてハチやチョウが飛んでいたりと、木陰や草むらにヤモリやカエルが潜んでいることも。花や実がついた木もあるので木の上も見てみよう。



ラクウショウ

キムネクマバチ



ヒルザキツキミソウ

ショウリヨウバッタ

虫の王国ゾーン

虫の王国ではときどき
カマキリも見つかるよ

シロツメクサ

広い原っぱの中にある「虫の王国」は、自然のままに草を伸ばしているの昆虫がたくさん集まります。歩く時は、虫を踏まないように足で草を払いのけながらゆっくりと進みましょう。草の中に隠れているバッタの仲間たちが跳んで姿を見せてくれます。

【七條 沙彩さん】

みんなで見つけよう!

あらかわ 生き物大図鑑

in 尾久の原公園

都立尾久の原公園は、大正時代からあった工場の跡地に1993年に開園しました。約6万㎡もの広大な園内には、草地や樹林だけではなく、池や大きな湿地(水をたっぷり含んだじめじめした土地のこと)もあり、水辺の環境が充実しています。そのため、区内で最もいろいろな生き物が見られるといわれ、生き物を観察するにはおすすめの場所です。
※掲載する生き物は取材が行われた6月時点に生育・生息していたものです。



【小山 達琉さん】

ダンゴムシが落ち葉を
分解してくれるんだよ

「バイオネスト」とは、園内で集めた枯れ枝などを鳥の巣のように組んで、落ち葉や刈り取った草を入れて堆肥を作る場所のこと。じっくりのぞいてみると、ダンゴムシやワラジムシなどの小さな虫たちの住み家になっていることがわかります。

バイオネストゾーン



トンボ池ゾーン

自然にできた水たまりが元で、降った雨水が水源の「トンボ池」は、その名のとおり都内有数のトンボの生息地。4～10月ごろに多くのトンボが現れます。面白い形の植物や水鳥もいるのでよく観察してみましょう。

水面をのぞく時は
池に落ちないように
気を付けて!



【篠崎 由花理さん】

ミコシガヤ

ギンヤンマ

チガヤ

バン

ショウジョウトンボ

Biome(バイオーム)について



区では、令和6年度からスマートフォンアプリ「Biome(バイオーム)」を使った生き物調査を実施しています。生き物の写真を撮影し、アプリで投稿すると種類の判別をAI(人工知能)が補助してくれます。令和6年度の調査では248人が参加。3,555件、1,391種類の生き物の投稿がありました。今年度の調査にもぜひ、ご参加ください。

令和7年度の生き物調査「あらかわとつこう! あらかわ生き物大図鑑2025秋」

期間●9月16日(火)～11月16日(日) 課題●区内で撮影した10種類の生き物写真の投稿など課題を達成した方には抽選で賞品をプレゼント(アプリの賞品応募画面から必要な情報を入力してください)。調査結果は生物多様性の保全のために利用されます。



Biomeの
ダウンロード
はこちら→

荒川区の取り組み

①自然観察会

季節に応じて、干潟の生き物、河原の昆虫、野鳥、桜などをテーマにした自然観察会を開催しています。都立尾久の原公園でも毎月1回程度、公園主催の観察会が開催され、区職員が生き物の解説をしています。私たちの身の回りにどんな生き物がいるのか、ぜひ、皆さんも探して学んでみてください。きっと驚きの発見があると思います。

②森林体験ツアー

友好交流都市などにご協力いただき、森と触れ合い、森をつくる森林体験ツアーを実施しています。令和7年度は山梨県甲府市、新潟県村上市、福島県福島市でツアーを開催。生き物たちを支える森づくりのためにさまざまな種類の木を植える植樹体験も行っています。



鮭のまちで学ぶ
森林・自然体験ツアー



葛西海浜公園干潟の生き物観察会

あらかわ生き物探し

○×クイズ

- Q1 「アキアカネ」がヤゴから羽化してトンボの姿になるのは秋です。
- Q2 秋にやって来る渡り鳥の「コガモ」は、体の大きな「マガモ」から生まれた赤ちゃんです。
- Q3 「タコノアシ」の名前の由来は、穂が真っ赤になるからです。

答えは4面にあります